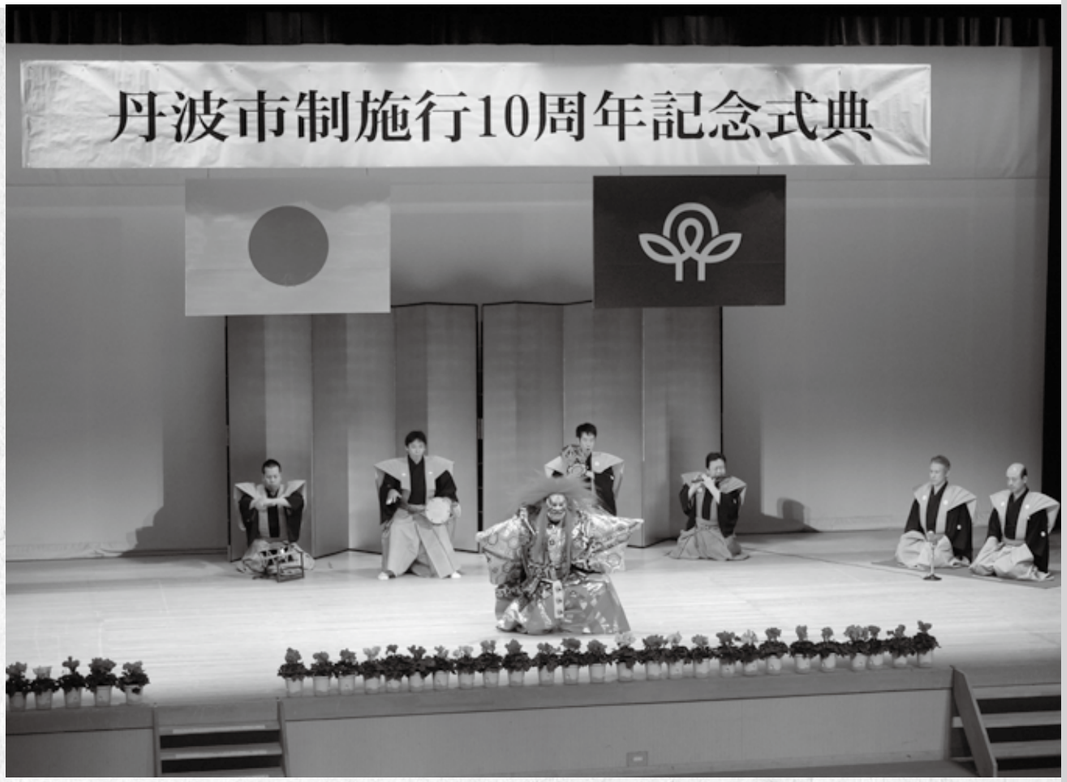
丹波市制施行10周年記念式典

Tamba-city



記念式典開催 - オープニング -

11月1日、春日文化ホールで丹波市制施行10周年記念式典が執り行われました。昨年8月の丹波市豪雨災害のため、1年遅れて開催されました。

平成16年11月1日、全国でも例の少ない6町が合併し、兵庫県下でも5番目の493・21平方キロメートルの広大な面積を有する『丹波市』が誕生しました。

オープニングでは能楽　祝言曲『石橋（しゃっきょう）』が演じられました。この演目は、文殊菩薩の使いである獅子が舞い、末永い繁栄を祝すというものです。勇壮な獅子の舞で、市制施行10周年を祝すとともに、夢ある未来への飛躍を祈念しました。

人かがやいて10年

開式に先立ち、市発足から、市制10年の歩みを動画で振り返りました。

国内最大級植物食恐竜『丹波竜』の発見をはじめ、健康寿命日本一をめざす取り組み、デマンド（予約）型乗合タクシーの運行開始、クリーンセンター竣工など、市民のみなさんとともに多くの事業実施と市の基盤づくりに努めてきた10年の歴史を再確認しました。

辻市長は、多くのかがやく人々に支えられた10年だったと振り返り、市民のみなさんをはじめ、市政発展にご協力いただいた関係者の方々へあらためて感謝を述べました。

井戸兵庫県知事からも祝辞をいただきました

表彰式に出席された受賞者の方々

もみじ賞表彰 - 市政功労者表彰 -

式典では、市政推進に尽力された30名4団体の方々の功績に対し、もみじ賞の表彰が行われました。

表彰は自治功労、社会福祉功労、保健衛生功労、産業功労、教育・文化功労、スポーツ功労、まちづくり功労の7分野に分けて行われました。

長年にわたり、市関係団体の役員として市の発展と市民のために献身的な活動をされた方々や大きな功績を残した個人・団体に贈られました。

受賞者は、丹波市の10年の歴史を支えた〝かがやく人〟たちがそろいました。

夢きらめいて未来

丹波市の未来を担う地元高校生の書道と絵画、花が会場を華やかに彩りました

合併直前の10月、台風23号により被災し、災害復旧からスタートした丹波市。くしくも、10年の節目に再び大きな災害に襲われました。甚大な被害を受けましたが、市民の力・ボランティアの力・地域の力で今日を迎えることができました。

現在、市では丹波市豪雨災害からの創造的復興に取り組み、中山間地域の再生モデル、丹波市モデルとなるよう施策展開をめざしています。

式典は、市制10周年のキャッチフレーズ「人かがやいて10年　夢きらめいて未来」を胸に、未来に向かってあらたな夢を描ける丹波市をめざし、進んでいくことを誓い、幕を閉じました。

-10th Anniversary concert-

10周年記念コンサート

丹波市春日町出身のソプラノ歌手、足立さつきさんとピアノ伴奏者の田中明子さんによる、10周年記念コンサートが行われました。足立さつきさんは、オペラへの出演のみならず、リサイタルやオーケストラとの共演など幅広く活躍。一方で、丹波市でコーラスグループを結成し、歌を通じてふるさととの交流を深めています。

コンサートでは、オペラ『ジャンニ・スキッキ』から『私のいとしいお父さん』。春日中学校に通っていた頃、はじめて人前で独唱をしたという思い出のスコットランド民謡『アニー・ローリー～故郷の空～』など5曲を披露し、美しい歌声で式典に花を添えました。

■メッセージ

テンポ良いトークでも会場を盛り上げました

丹波市を離れても、ふるさとはいつも私の心の支えになっています。私もみなさんの心の支えとなれるような活動をしていきたいと思います。